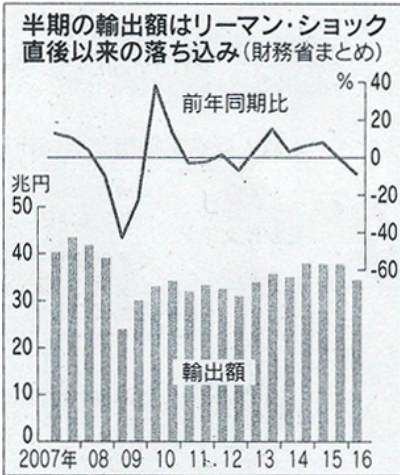
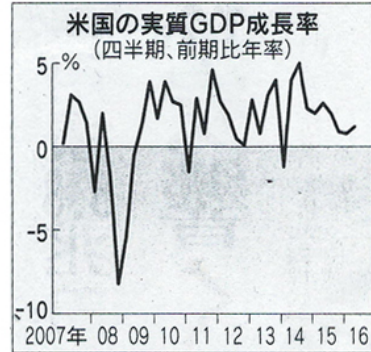


- 07/21・英独首脳会談、メイ英首相EU離脱「年内通知せず」(ベルリン、20日)
メルケル独首相、配慮の姿勢「準備期間は必要だ」
・トルコ、非常事態宣言3ヶ月間 大統領権限強化に拍車 欧米は懸念
- 07/22・トランプ氏「米国第一」共和党大会指名受諾 「TPP、署名せず」
・英仏首脳会談 離脱通告時期、仏も配慮 EU不安定化は懸念
- 07/25・G20財務相・中央銀行総裁会議(成都、24日) EU離脱混乱回避へ連携
議長国の中国、構造改革推進を演出 改革への国内の抵抗を排除する狙い
・日本上期輸出額8.7%減 6年半ぶり減少幅 円高・海外減速で < 1 >
2半期連続のマイナス リーマン危機直後以来の落ち込み幅 貿易収支は5年半ぶりの黒字
- 07/26・ASEAN外相会議共同声明、南シナ海明記を回避(ビエンチャン、25日)
・韓国GDP0.7%増(4-6月) 民間消費などプラスに
- 07/27・日本3メガ銀3割減収(4-6月最終) マイナス金利響く
・アップル、2期連続減収 4-6月15%減 中国での不振響く
- 07/28・米、追加利上げ見送り 「短期リスクは後退」FOMC(27日)
英離脱の影響「限定的」 年内利上げ市場再び意識 9月以降の引き締め探る
- 07/29・ASEAN地域フォーラム(ARF、バンコク26日) 「国際法で紛争解決を」
日米中参加のASEAN関係閣僚会議 南シナ海判決には触れず
・トルコ、メディア130社閉鎖、資産没収 言論弾圧に拍車
・日本6月消費支出2.2%減 物価0.5%下落
- 07/30・米成長率1.2%どまり(4-6月年率) 設備投資の不振鮮明 < 2 >
個人消費は4.2%増と好調も設備投資が2.2%減と3四半期連続マイナス
・日銀金融政策会合(29日) 上場投資信託(ETF) 買い入れを年6兆円に倍増< 3 >
追加緩和、政府と歩調 物価目標「2年」を撤回へ 円相場急伸一時101円台
・ユーロ圏1.2%成長に減速(4-6月) 南欧の銀行問題が影 < 4 >
・円上昇一時102円台前半 2週間半ぶりの円高に
・GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人) 15年度運用損5.3兆円
円高・株安響く 公的年金、将来に不安も
- 08/01・メキシコ車生産陰り 上半期7年ぶり減少 輸出不振で投資計画に影響も< 5 >
・石油メジャー大手5社 64%減益(4-6月) < 6 >

< 1 >



< 2 >



4~6月期の米GDP速報値

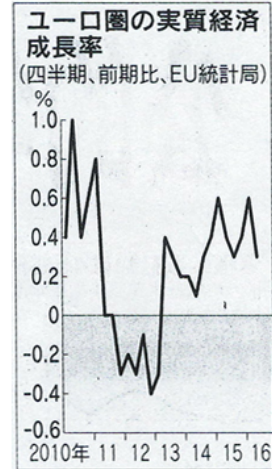
| | 増減率(%) |
|-----------|--------|
| 国内総生産 | 1.2 |
| 個人消費支出 | 4.2 |
| 民間設備投資 | ▲2.2 |
| 民間住宅投資 | ▲6.1 |
| 輸出 | 1.4 |
| 輸入 | ▲0.4 |
| 政府支出 | ▲0.9 |
| GDPデフレーター | 2.2 |

(注) 前期比年率。▲はマイナス。出所は米商務省

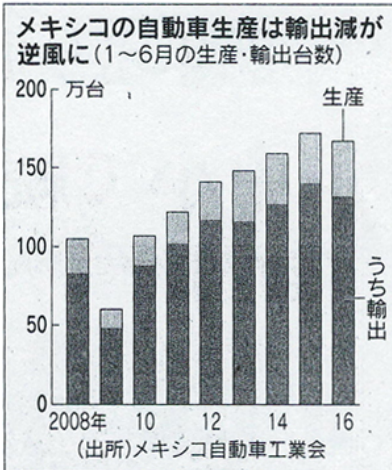
< 3 >

- 日銀の金融政策決定と黒田総裁発言
- 上場投資信託(ETF)の買い入れ倍増
 - 「株式市場が適切に機能するようサポート」
 - 政府の大規模な経済対策との協調
 - 「緩和的な金融環境は相乗的な効果を発揮」
 - 総裁就任以来の政策効果の検証
 - 「2%物価目標の実現に何かが必要か検証」
 - マイナス金利の現状維持
 - 「限界とは考えていない。深掘りはあり得る」

< 4 >



< 5 >



< 6 >

